

## フランス文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
フランス文学概論Ⅰ	「フランス文学」を通じて何を学ぶのか：その展望および文学史（17世紀まで）	2	黒岩 卓	前期 火曜日 2 講時	
フランス文学概論Ⅱ	フランス文学史（近現代）	2	今井 勉	後期 水曜日 4 講時	
フランス語学概論Ⅰ	フランス語意味論Ⅱ	2	阿部 宏	後期 月曜日 5 講時	
フランス文学基礎講読Ⅰ	フランス語の文章を読む	2	今井 勉	前期 水曜日 4 講時	
フランス文学基礎講読Ⅱ	フランス語文法と仏文解釈	2	黒岩 卓	後期 月曜日 4 講時	
フランス語学基礎講読	フランスの雑誌を読む	2	阿部 宏	前期 月曜日 5 講時	
フランス文学各論Ⅰ	フランス文学批評史（1）	2	今井 勉	前期 木曜日 2 講時	
フランス文学各論Ⅱ	フランス文学批評史（2）	2	今井 勉	後期 木曜日 2 講時	
フランス文学各論Ⅲ	パスカル『パンセ』の人間論	2	山上 浩嗣	通年集中 その他 連講	
フランス文学演習Ⅰ	Lire, comprendre, interpréter	2	メヴェル ヤン	前期 木曜日 4 講時	
フランス文学演習Ⅱ	Lire, comprendre, interpréter	2	メヴェル ヤン	後期 木曜日 4 講時	
フランス文学演習Ⅲ	フランス語の歴史と諸相（1）	2	黒岩 卓	前期 火曜日 1 講時	
フランス文学演習Ⅳ	フランス語の歴史と諸相（2）	2	黒岩 卓	後期 火曜日 1 講時	
フランス語学演習Ⅰ	フランス語意味論Ⅰ	2	阿部 宏	前期 火曜日 5 講時	
フランス語学演習Ⅱ	フランス語意味論Ⅱ	2	阿部 宏	後期 火曜日 5 講時	

科目名：フランス文学概論 I / French Literature (General Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

semester：3 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB32203 科目ナンバリング：LHM-LIT208J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：「フランス文学」を通じて何を学ぶのか：その展望および文学史（17 世紀まで）
2. Course Title (授業題目)：French Literature: history and perspectives
3. 授業の目的と概要：1) 今日の日本にあって、「フランス文学」という学問領域を通して何を学ぶことができるのかを考える。  
2) 古代から近世にかけてフランス語やフランス語による文学が成立してきた過程の概要をつかむ。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about：  
1) the meaning of French Literature in today's Japan  
2) the history of French and French Literature until the 17th century.
5. 学習の到達目標：  
現代の日本にも存在するフランス語・フランス文化のイメージを相対化し、一人一人がこれからのフランス語・フランス文学のありかたを考えられるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner relativizes the prevailed image of French and French culture and thinks about their future.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
(以下は予定で、変更があり得ます)  
  
第1回 オリエンテーション / フランス文学と日本  
第2回 ウェルギリウス『アエネーイス』 / 英雄像の変遷  
第3回 『ローランの歌』 / 「フランス文学史」の誕生  
第4回 『アーサー王の死』 / 結婚とその他  
第5回 『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』 / 牢獄  
第6回 ヴィヨン『形見』 / 自己  
第7回 ラブレール『ガルガンチュア物語』 / 日本におけるフランス文学の翻訳  
第8回 カルヴァン『キリスト教綱要』 / 闘争としての文学  
第9回 モンテーニュ『エッセー』 / ラテン語とフランス語  
第10回 デカルト『方法序説』 / パスカール『パンセ』  
第11回 コルネイユ『嘘つき男』 / ジャーナリズムの誕生  
第12回 モリエール『お嫁さんの学校』 / オペラ・バレエ  
第13回 ラシーヌ『アンドロマック』 / 演劇  
第14回 ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ / フランス語の形成と辞書の歴史  
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：  
出席（50%）および期末レポート（50%）
9. 教科書および参考書：  
永井敦子・畠山達・黒岩卓編著『フランス文学の楽しみかた ウェルギリウスからル・クレジオまで』、ミネルヴァ書房、2021年。
10. 授業時間外学習：毎回の授業後、感想をフィードバックしていただきます。また期末レポートの作成に向け、各自が準備をすることが求められます。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
12. その他：なし

科目名：フランス文学概論Ⅱ／ French Literature (General Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB43404 科目ナンバリング：LHM-LIT209J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学史（近現代）
2. Course Title (授業題目)：History of french modern literature
3. 授業の目的と概要：この授業では、18 世紀から現代までのフランス文学史上重要な作品を選んで、テキスト読解を試みます。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to have a concrete perspective of french literature from the 18th century to the present day.
5. 学習の到達目標：  
フランス文学史を通覧しながら、フランス文学の傑作に触れる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a historical perspective of french literature.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：  
(授業進度、あつかうテキストは変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第 1 回 導入

第 2 回 18 世紀のフランス文学 (1)

第 3 回 18 世紀のフランス文学 (2)

第 4 回 18 世紀のフランス文学 (3)

第 5 回 19 世紀のフランス文学 (1)

第 6 回 19 世紀のフランス文学 (2)

第 7 回 19 世紀のフランス文学 (3)

第 8 回 19 世紀のフランス文学 (4)

第 9 回 19 世紀のフランス文学 (5)

第 10 回 20 世紀のフランス文学 (1)

第 11 回 20 世紀のフランス文学 (2)

第 12 回 20 世紀のフランス文学 (3)

第 13 回 20 世紀のフランス文学 (4)

第 14 回 20 世紀のフランス文学 (5)

第 15 回 21 世紀のフランス文学 (1)

8. 成績評価方法：

課題コメント 40% + 課題レポート（または筆記試験）60%。

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。

10. 授業時間外学習：毎回、次回の授業で扱うプリントを配付しますので、あらかじめよく読んで、授業に臨んでください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：なし

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス語学概論 I / French Linguistics (General Lecture) I

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB41502 科目ナンバリング：LHM-LIT210J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語意味論 II

2. Course Title (授業題目) : Sémantique française II

3. 授業の目的と概要：・フランス語の語彙、文法、歴史を扱った論文を読みながら、文法構造、歴史、語彙など、フランス語の特徴について総合的に解説し、考察します。また、適宜、英語、日本語などとの対照的考察を行います。

・語学研究の方法論を解説するとともに、フランス語と日本語の類似点と相違点について考察します。

・LEXIS などの仏々辞典、『朝倉・新フランス文法事典』、Le Bon Usage, Dupré などの文法事典、Robert-Collins などの仏英辞典、Bénac などの類義語辞典、Le Robert historique などの語源辞典の利用法について、具体例にもとづいて解説します。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : \* En lisant des articles sur le vocabulaire, la grammaire et l'histoire du français, on expliquera des caractéristiques du français, on étudiera des structures grammaticales, l'histoire de la langue et le lexique . On mènera des études contrastives avec l'anglais et le japonais.

\* On expliquera la méthodologie de la recherche linguistique, les similitudes et les différences entre le français et le japonais.

\* On expliquera comment utiliser efficacement des dictionnaires, tels que LEXIS, DFC, Asakura, Le Bon Usage, Dupré, Robert-Collins, Bénac, Robert historique etc.

5. 学習の到達目標：

・フランス語の読解力が高まる。

・フランス語、英語、日本語などの言葉の違いを超えた共通性に気づく。

・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : \* On améliorera les compétences en lecture en français.

\* On rendra compte de points communs qui transcendent les différences linguistiques, entre le français, l'anglais et le japonais.

\* On s'initiera à la recherche linguistique.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業の実施形態：ハイブリッド

1. ガイダンス
2. 意味論関連文献読解 (1)
3. 意味論関連文献読解 (2)
4. 意味論関連文献読解 (3)
5. 意味論関連文献読解 (4)
6. 意味論関連文献読解 (5)
7. 主観性関連文献読解 (1)
8. 主観性関連文献読解 (2)
9. 主観性関連文献読解 (3)
10. 主観性関連文献読解 (4)
11. 語用論関連文献読解 (1)
12. 語用論関連文献読解 (2)
13. 語用論関連文献読解 (3)
14. 語用論関連文献読解 (4)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

筆記試験 50% + 出席 50%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』 東北大学出版会。

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：なし

科目名：フランス文学基礎講読 I / French Literature (Introductory Reading) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB33404 科目ナンバリング：LHM-LIT223J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の文章を読む
  2. Course Title (授業題目) : Reading of french literature
  3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス語の基礎文法を確認しながら、フランス語で書かれた文学的な文章を読みます。
  4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course offers an opportunity to develop the abilities necessary in reading of french literature.
  5. 学習の到達目標：  
フランス語で書かれた文学的な文章の読解技術について実践的な見通しを持つことができるようになる。
  6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students have a practical perspective of understanding of french literature.
  7. 授業の内容・方法と進度予定：  
(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第1回 導入  
第2回 名文撰 (1)  
第3回 名文撰 (2)  
第4回 名文撰 (3)  
第5回 名文撰 (4)  
第6回 名文撰 (5)  
第7回 名文撰 (6)  
第8回 名文撰 (7)  
第9回 名文撰 (8)  
第10回 名文撰 (9)  
第11回 名文撰 (10)  
第12回 名文撰 (11)  
第13回 名文撰 (12)  
第14回 名文撰 (13)  
第15回 まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：  
授業参加 (または課題提出) 状況 60% + 筆記試験 (または課題レポート) 40%
  9. 教科書および参考書：  
プリントを配付します。
  10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
  11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
  12. その他：なし  
フランス語の初級文法についてひと通りの知識があることを授業参加の前提とします。

科目名：フランス文学基礎講読Ⅱ／ French Literature (Introductory Reading)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB41402 科目ナンバリング：LHM-LIT224J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語文法と仏文解釈
2. Course Title (授業題目)：French Grammar and
3. 授業の目的と概要：主要な参考書として六鹿豊『これならわかるフランス語文法』(予定)を用いて、初級文法の復習と中・上級文法への導入を行います。また進度によってはさまざまな種類のフランス語のテキストを読みます。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Using the manual mentioned below, each learner revises the basic French grammar and enters into the advanced French grammar.
5. 学習の到達目標：  
近現代までのフランス語の読解に必要な文法的知識を深め、近・現代フランス語のテキストに親しむ。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Each learner obtains enough knowledge to read French texts correctly and becomes familiar with various modern French texts.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
以下の予定で『これならわかるフランス語文法』(以下教科書の項を参照)を読みます。進度によっては平行してさまざまなテキストの講読を行います。

第一回	オリエンテーション
第二回	第1章 文 / 第2章 名詞句・名詞
第三回	第3章 限定詞
第四回	第4章 代名詞 (途中まで)
第五回	第4章 代名詞 (途中から) / 第5章 形容詞句・形容詞
第六回	第6章 動詞句・動詞
第七回	第7章 代名動詞・代名動詞構文
第八回	第8章 動詞の叙法と時制 (途中まで)
第九回	第8章 動詞の叙法と時制 (途中から) / 第9章 助動詞・準助動詞
第十回	第10章 不定詞・分詞・ジェロンディフ / 第11章 副詞 (途中まで)
第十一回	第11章 副詞 (途中から) / 第12章 前置詞・前置詞句 / 第13章 接続詞 / 第14章 否定文
第十二回	第15章 疑問文 / 第16章 命令文 / 第17章 感嘆文 / 第18章 さまざまな構文1
第十三回	第19章 さまざまな構文2 / 第20章 さまざまな構文3
第十四回	第21章 比較級・最上級 / 第22章 吹く分
第十五回	第23章 従属節 / 第24章 話法

8. 成績評価方法：  
出席 (100%：毎回小テストを実施します)。
9. 教科書および参考書：  
六鹿豊『これならわかるフランス語文法』、NHK 出版、2016。
10. 授業時間外学習：初回を除いて、原則として毎回授業で扱う箇所を読んで来るが必要になります。また毎回小テストを実施します。従って、十分な予習と復習が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
12. その他：なし

科目名：フランス語学基礎講読／ French Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB31502 科目ナンバリング：LHM-LIT225J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランスの雑誌を読む

2. Course Title (授業題目) : Lire des magazines français

3. 授業の目的と概要： フランス語で書かれた平易な雑誌記事やガイドブックを題材に、初級文法・基礎的語彙の復習、中級文法の学習、文章読解の練習を行います。また、発音のわかりづらい点（発音記号の理解、語末音の発音の有無、複母音字、鼻母音、リエゾンなど）、文法のわかりづらい点（部分冠詞、名詞の性、中性代名詞、複合過去と半過去との違い、単純過去、条件法、接続法など）、フランスと英語や日本語との違い、フランス語の語源とフランス語史などについて解説します。仏々辞典、仏英辞典、文法事典、類義語辞典などの有効な活用法についても紹介します。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : À l'aide de magazines et de guides simples rédigés en français, on révisera la grammaire élémentaire et le vocabulaire de base, on apprendra la grammaire intermédiaire et on développera ses compétences en lecture. On analysera les points difficiles, tels que les symboles phonétiques, les voyelles nasales et les liaisons etc., certaines difficultés grammaticales, tels que les articles partitifs, les genres grammaticaux, les pronoms neutres, les différences entre le passé composé et l'imparfait. On comparera le français avec l'anglais et le japonais. On apprendra également comment utiliser les divers dictionnaires de français etc.

5. 学習の到達目標：

- ・フランス語の雑誌やガイドブックが読めるようになる。
- ・フランス語の中級文法がわかるようになる。
- ・仏々辞典、仏英辞典、文法事典の使い方をマスターする。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : \* On s'entraînera à lire des magazines et des guides français.

\* On développera ses connaissances en grammaire intermédiaire du français.

\* On maîtrisera l'utilisation des dictionnaires du français, des dictionnaires franco-anglais et des dictionnaires de grammaire.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは 264ekw6 です。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. ガイダンス
2. 辞典、文法事典、参考書の紹介
3. 雑誌記事・日本紹介（1）
4. 雑誌記事・日本紹介（2）
5. 雑誌記事・日本紹介（3）
6. 雑誌記事・時事問題（1）
7. 雑誌記事・時事問題（2）
8. 雑誌記事・時事問題（3）
9. ガイドブック・大学案内（1）
10. ガイドブック・大学案内（2）
11. ガイドブック・大学案内（3）
12. ガイドブック・旅行案内（1）
13. ガイドブック・旅行案内（2）
14. ガイドブック・旅行案内（3）
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 50%. 筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。参考書については、教室で現物をお見せして、適宜推薦します。

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：なし

科目名：フランス文学各論 I / French Literature (Special Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB54206 科目ナンバリング：LHM-LIT312J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学批評史（1）

2. Course Title (授業題目)：History of french criticism (1)

3. 授業の目的と概要：19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』（1997）を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.

5. 学習の到達目標：

フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第 1 回 導入 これまでの論のふりかえり

第 2 回 動く民主主義または旧制度（1）

第 3 回 動く民主主義または旧制度（2）

第 4 回 動く民主主義または旧制度（3）

第 5 回 怒るフロール・サンジェ（1）

第 6 回 怒るフロール・サンジェ（2）

第 7 回 怒るフロール・サンジェ（3）

第 8 回 ニューヨーククーパリ（1）

第 9 回 ニューヨーククーパリ（2）

第 10 回 不正によっては正義に達せず

第 11 回 フランス祖国同盟（1）

第 12 回 フランス祖国同盟（2）

第 13 回 フランス祖国同盟（3）

第 14 回 ペロー氏の女婿（1）

第 15 回 ペロー氏の女婿（2）

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況（または課題レポート）100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《L' Univers historique 》, 1997.

10. 授業時間外学習：毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

12. その他：なし

連絡先：tsutomu. imai. a4@tohoku. ac. jp

科目名：フランス文学各論Ⅱ／ French Literature (Special Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB64206 科目ナンバリング：LHM-LIT313J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学批評史 (2)

2. Course Title (授業題目)：History of french criticism (2)

3. 授業の目的と概要：19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』(1997) を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.

5. 学習の到達目標：

フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第 1 回 「あの信じがたい手品」(1)

第 2 回 「あの信じがたい手品」(2)

第 3 回 「あの信じがたい手品」(3)

第 4 回 フロールと護教論 (1)

第 5 回 フロールと護教論 (2)

第 6 回 フロールと護教論 (3)

第 7 回 フロールと護教論 (4)

第 8 回 フロールと護教論 (5)

第 9 回 修道院のユダヤ女 (1)

第 10 回 修道院のユダヤ女 (2)

第 11 回 修道院のユダヤ女 (3)

第 12 回 知られざる傑作 (1)

第 13 回 知られざる傑作 (2)

第 14 回 名のることなき反ユダヤ主義？

第 15 回 絶望したる者あるいは社会主義者の教皇？

8. 成績評価方法：

毎回の授業参加状況 (または課題レポート) 100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《 L' Univers historique 》, 1997.

10. 授業時間外学習：毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

12. その他：なし

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学各論Ⅲ／ French Literature (Special Lecture)Ⅲ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

semester：集中 単位数：2

担当教員：山上 浩嗣

コード：LB98814 科目ナンバリング：LHM-LIT314J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：パスカル『パンセ』の人間論

2. Course Title (授業題目)：Anthropology in Pascal's Pensées

3. 授業の目的と概要：『パンセ』は、未完に終わった著作『キリスト教護教論』の草稿からなるパスカルの遺稿集である。本授業では、『パンセ』のなかの主要テーマ（「考える葦」「気晴らし」「信仰と習慣」「三つの秩序」「賭け」など）に関連する断章を取り上げ、フランス語原文に基づいて正確に読解する。また、その背景にある思想、歴史、文化についてできるだけ平易に解説する。さらに、パスカルが執筆の際に多大な影響を受けたモンテーニュ『エッセー』との関係についても随時言及する。可能な範囲で、受講生にも原文講読を担当してもらう。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The purpose of this course is to study the main themes of Pascal's Pensées — the dignity of man, divertissement, faith and custom, the three orders or the bet — based on the original text. We will also be interested in Montaigne's Essais, which inspired Pascal a lot. Volunteer participants are invited to make a presentation in the class.

5. 学習の到達目標：

1. パスカルの思想および同時代の宗教・哲学思想潮流の概要を理解する。
2. フランス語の読解能力を高める。
3. 関心をもった主題について、正当な秩序に基づいて論じる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. To understand the thought of Pascal and the general characteristics of the philosophical and religious thoughts of his contemporary epoch.

2. To improve the reading ability of French texts.

3. To write a dissertation on a subject you are interested in.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 講義① パスカルの生涯と思想概要

第2回 原文講読と解説①：「天使と獣」

第3回 原文講読と解説②：「〈圧政〉と精神の自由」

第4回 講義② 『パンセ』の成り立ち

第5回 原文講読と解説③：「狩りと獲物」

第6回 原文講読と解説④：「一週間と全生涯」

第7回 講義③ 『パンセ』概説：「考える葦」から「賭け」へ

第8回 原文講読と解説⑤：「機械と習慣」

第9回 原文講読と解説⑥：「不確実なもののために努力すること」

第10回 講義④ パスカルとモンテーニュにおける「見かけ」の問題

第11回 原文講読と解説⑦：「知識の空しさ」

第12回 原文講読と解説⑧：「メント・モリ」

第13回 講義⑤ パスカルとモンテーニュの政治論

第14回 原文講読と解説⑨：「無知の礼賛」

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

授業中発表（50%）、学期末レポート（50%）

9. 教科書および参考書：

【教科書】

次の書からの抜粋をプリントにて配布する。

Pascal, Pensées, dans Les Provinciales, Pensées et opuscules divers, textes édités par G. Ferreyrolles et Ph. Sellier, Paris, LGF, 《La Pochothèque》, 2004.

【参考書】

山上浩嗣『パスカル「パンセ」を楽しむ』講談社学術文庫、2016.

塩川徹也『パスカル「パンセ」を読む』岩波セミナーブック

10. 授業時間外学習：講読に際しては、辞書を用いて教材を予習しておくことが望ましい。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

12. その他：なし

科目名：フランス文学演習 I / French Literature (Seminar) I

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン

コード：LB54403 科目ナンバリング：LHM-LIT331J 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Lire, comprendre, interpréter
2. Course Title (授業題目)：Lire, comprendre, interpréter
3. 授業の目的と概要：Parmi les activités :
  - analyses méthodiques de textes littéraires
  - exercices d'expression écrite
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Parmi les activités :
  - analyses méthodiques de textes littéraires
  - exercices d'expression écrite
5. 学習の到達目標：  
Les buts du cours sont les suivants :
  - initier à l'analyse des textes littéraires
  - développer les compétences de lecture et de compréhension
  - développer les capacités d'expression
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Les buts du cours sont les suivants :
  - initier à l'analyse des textes littéraires
  - développer les compétences de lecture et de compréhension
  - développer les capacités d'expression
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1 ) Introduction
  - 2 ) Lecture méthodique
  - 3 ) Lecture méthodique
  - 4 ) Lecture méthodique
  - 5 ) Lecture méthodique
  - 6 ) Lecture méthodique
  - 7 ) Lecture méthodique
  - 8 ) Lecture méthodique
  - 9 ) Lecture méthodique
  - 10 ) Lecture méthodique
  - 11 ) Lecture méthodique
  - 12 ) Lecture méthodique
  - 13 ) Lecture méthodique
  - 14 ) Lecture méthodique
  - 15 ) Lecture méthodique
  - 16 ) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu. Il comptera pour 60 % dans l'évaluation générale.  
A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionnaire sur un texte littéraire (40 %).
9. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
  11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
  12. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅱ／ French Literature (Seminar)II

曜日・講時：後期 木曜日 4講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン

コード：LB64404 科目ナンバリング：LHM-LIT332J 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Lire, comprendre, interpréter
2. Course Title (授業題目)：Lire, comprendre, interpréter
3. 授業の目的と概要：Parmi les activités :
  - pratique de la lecture orale
  - analyses méthodiques de textes littéraires
  - exercices d'expression orale et écrite
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Parmi les activités :
  - pratique de la lecture orale
  - analyses méthodiques de textes littéraires
  - exercices d'expression orale et écrite
5. 学習の到達目標：  
Les buts du cours sont les suivants :
  - initier à l'analyse des textes littéraires
  - développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
  - développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Les buts du cours sont les suivants :
  - initier à l'analyse des textes littéraires
  - développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
  - développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) Introduction
  - 2) Lecture méthodique
  - 3) Lecture méthodique
  - 4) Lecture méthodique
  - 5) Lecture méthodique
  - 6) Lecture méthodique
  - 7) Lecture méthodique
  - 8) Lecture méthodique
  - 9) Lecture méthodique
  - 10) Lecture méthodique
  - 11) Lecture méthodique
  - 12) Lecture méthodique
  - 13) Lecture méthodique
  - 14) Lecture méthodique
  - 15) Lecture méthodique
  - 16) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, à l'oral (participation aux cours) et à l'écrit (rédaction de textes brefs). Il comptera pour 60 % dans l'évaluation générale. A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionna
9. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
  11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
  12. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅲ／ French Literature (Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB52101 科目ナンバリング：LHM-LIT333F 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の歴史と諸相（1）
2. Course Title (授業題目)：The history of French language and the francophonie (1)
3. 授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about the history of the French language from its origin to nowadays. We will also excise French-Japanese translation.
5. 学習の到達目標：  
フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner acquires basic knowledge about the history of the French language. Also, he/she will have a better proficiency in French-Japanese translation.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
(以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。)  
第一回 pp. 11-25.  
第二回 pp. 27-37.  
第三回 pp. 37-47.  
第四回 pp. 47-58.  
第五回 pp. 59-70.  
第六回 pp. 71-80.  
第七回 pp. 80-90.  
第八回 pp. 90-99.  
第九回 pp. 99-108.  
第十回 pp. 109-118.  
第十一回 pp. 119-131.  
第十二回 pp. 131-138.  
第十三回 pp. 138-147.  
第十四回 まとめ (1)  
第十五回 まとめ (2)
8. 成績評価方法：  
出席点 100% (毎週の仏文和訳)
9. 教科書および参考書：  
Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.
10. 授業時間外学習：指定箇所の仏文和訳が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
12. その他：なし

科目名：フランス文学演習IV／ French Literature (Seminar) IV

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB62101 科目ナンバリング：LHM-LIT334F 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の歴史と諸相（2）
2. Course Title (授業題目)：The history of French language and the francophonie (2)
3. 授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about the history of the French language from its origin to nowadays. We will also excise French-Japanese translation.
5. 学習の到達目標：  
フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner acquires basic knowledge about the history of the French language. Also, he/she will have a better proficiency in French-Japanese translation.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
(以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。)  
第一回 ガイダンスおよび前期の総まとめ  
第二回 pp. 148-159.  
第三回 pp. 159-167.  
第四回 pp. 167-176.  
第五回 pp. 176-186.  
第六回 pp. 186-196.  
第七回 pp. 196-206.  
第八回 pp. 207-218.  
第九回 pp. 219-229.  
第十回 pp. 229-238.  
第十一回 pp. 239-249.  
第十二回 pp. 250-259.  
第十三回 pp. 259-271.  
第十四回 pp. 271-280.  
第十五回 pp. 281-286.
8. 成績評価方法：  
平常点 100% (毎週の仏文和訳)
9. 教科書および参考書：  
Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.
10. 授業時間外学習：指定箇所の仏文和訳が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
12. その他：なし

科目名：フランス語学演習 I / French Linguistics (Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB52504 科目ナンバリング：LHM-LIT335J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語意味論 I

2. Course Title (授業題目) : Sémantique française I

3. 授業の目的と概要：・フランス文学作品等のテキストを題材に、フランス語の言語的現象を分析し、同時に文化論・文学論・歴史学的な考察を行います。

- ・フランス語の諸現象について、文法化、認知意味論、主観性などの観点から解説します。
- ・実例に基づいた言語研究、およびフランス語・英語・日本語間の対照研究の方法論について考察します。
- ・仏々辞典、仏英辞典、文法事典、類義語辞典などの有効な活用法についても、具体的に説明します。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : \* On analysera les phénomènes linguistiques du français dans des œuvres littéraires etc., tout en rendant compte d' aspects culturels, littéraires et historiques.

\* On expliquera des phénomènes du français du point de vue de la grammaticalisation, de la sémantique cognitive et de la subjectivité.

\* On mènera des recherches linguistiques fondées sur des exemples authentiques et des recherches contrastives entre français, anglais et japonais.

\* On expliquera comment utiliser efficacement des dictionnaires de français, des dictionnaires franco-anglais, des dictionnaires de grammaire, des thésaurus, etc.

5. 学習の到達目標：

- ・フランス語の読解力が高まる。
- ・フランス語の語彙と文法の仕組みがわかるようになる。
- ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : \* On améliorera les compétences en lecture en français.

\* On développera les connaissances lexicales et grammaticales.

\* On s' initiera à la recherche linguistique.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは emtwh47 です。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. ガイダンス
2. 仏々辞典等の使用法
3. 文法事典等の使用法
4. 意味論概説 (1)
5. 意味論概説 (2)
6. 意味論概説 (3)
7. テキスト読解 (1)
8. テキスト読解 (2)
9. テキスト読解 (3)
10. テキスト読解 (4)
11. テキスト読解 (5)
12. テキスト読解 (6)
13. テキスト読解 (7)
14. テキスト読解 (8)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 50%, 筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』 東北大学出版会。

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：なし

科目名：フランス語学演習Ⅱ／ French Linguistics (Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB62504 科目ナンバリング：LHM-LIT336J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語意味論 II
2. Course Title (授業題目) : Sémantique française II
3. 授業の目的と概要：・フランス語の語彙、文法、歴史を扱った論文を読みながら、文法構造、歴史、語彙など、フランス語の特徴について総合的に解説し、考察します。また、適宜、英語、日本語などとの対照的考察を行います。
  - ・語学研究の方法論を解説するとともに、フランス語と日本語の類似点と相違点について考察します。
  - ・LEXIS などの仏々辞典、『朝倉・新フランス文法事典』、Le Bon Usage, Dupré などの文法事典、Robert-Collins などの仏英辞典、Bénac などの類義語辞典、Le Robert historique などの語源辞典の利用法について、具体例にもとづいて解説します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : \* En lisant des articles sur le vocabulaire, la grammaire et l'histoire du français, on expliquera des caractéristiques du français, on étudiera des structures grammaticales, l'histoire de la langue et le lexique . On mènera des études contrastives avec l'anglais et le japonais.
  - \* On expliquera la méthodologie de la recherche linguistique, les similitudes et les différences entre le français et le japonais.
  - \* On expliquera comment utiliser efficacement des dictionnaires, tels que LEXIS, DFC, Asakura, Le Bon Usage, Dupré, Robert-Collins, Bénac, Robert historique etc.
5. 学習の到達目標：
  - ・フランス語の読解力が高まる。
  - ・フランス語、英語、日本語などの言葉の違いを超えた共通性に気づく。
  - ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : \* On améliorera les compétences en lecture en français.
  - \* On rendra compte de points communs qui transcendent les différences linguistiques, entre le français, l'anglais et le japonais.
  - \* On s'initiera à la recherche linguistique.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
授業の実施形態：ハイブリッド
  1. ガイダンス
  2. 意味論関連文献読解 (1)
  3. 意味論関連文献読解 (2)
  4. 意味論関連文献読解 (3)
  5. 意味論関連文献読解 (4)
  6. 意味論関連文献読解 (5)
  7. 主観性関連文献読解 (1)
  8. 主観性関連文献読解 (2)
  9. 主観性関連文献読解 (3)
  10. 主観性関連文献読解 (4)
  11. 語用論関連文献読解 (1)
  12. 語用論関連文献読解 (2)
  13. 語用論関連文献読解 (3)
  14. 語用論関連文献読解 (4)
  15. まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：  
筆記試験 50% + 出席 50%
9. 教科書および参考書：  
プリント使用。  
参考書：阿部宏 (2015)『言葉に心の声を聞く』東北大学出版会。
10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます
11. 実務・実践的授業/Practical business
  - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
12. その他：なし